

## 屋根伏せファーストステップガイド



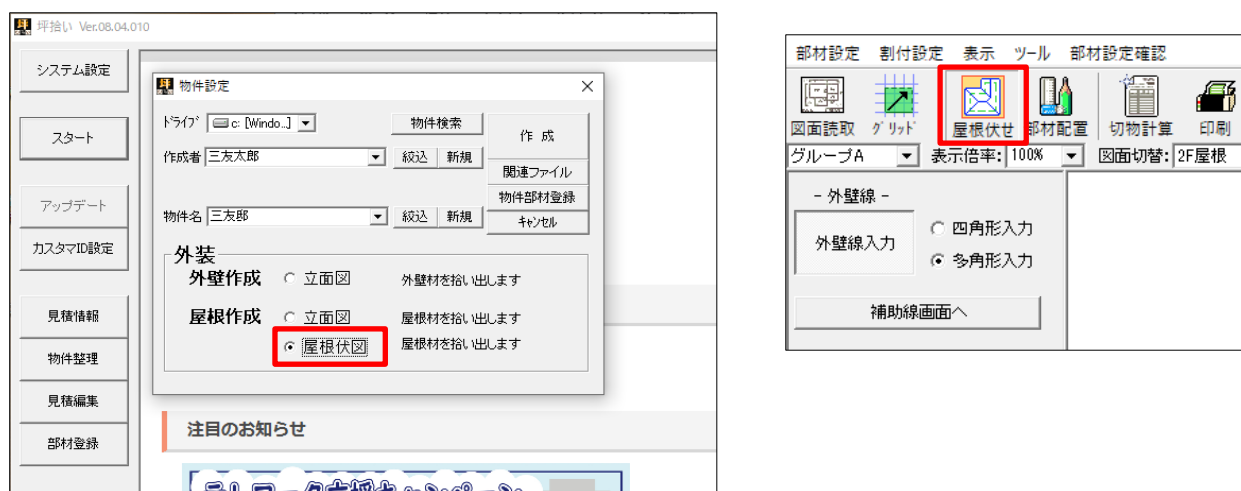
サンユー販売株式会社

## 目次

はじめに .....	3
屋根伏せ機能とは .....	3
屋根伏せ作成の流れ .....	3
屋根伏の前準備 .....	4
屋根伏図の作成 .....	5
例題物件1 外壁線入力の方法～軒袖変更 .....	5
例題物件2 桁上げ・下げのある屋根／下屋(1階屋根)の作り方 .....	9
例題物件3 段違いの屋根／特殊コーナー形状 .....	16

## はじめに

このマニュアルは坪拾い屋根伏図モード【屋根伏せ】機能の操作マニュアルです。  
 例題物件に沿って、入力手順や基本的な機能をご紹介します。  
 そのほかの操作については別途マニュアルを参照ください。



## 屋根伏せ機能とは

屋根の拾い出しを行う場合、上から見た屋根伏せ図から拾うことが理想的です。  
 しかし、屋根伏図はなかなか入手困難な場合もあります。  
 坪拾いでは平面図と立面図の情報をもとに屋根伏図を作図することができます。  
 これを下絵にして拾い出しを行うことができます。

## 屋根伏せ作成の流れ

屋根がかかっている部分の**外壁線**を一筆書きで入力する  
 （自動で屋根形状を作るため、平面図に沿った寸法で外壁線を作ります）



屋根の勾配・出幅を設定し、形状を選ぶ



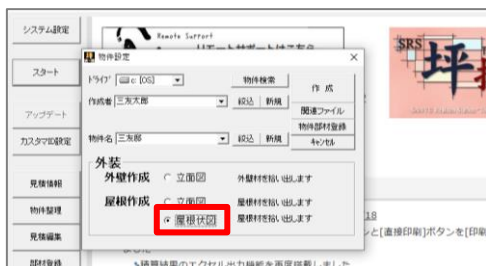
各部微調整



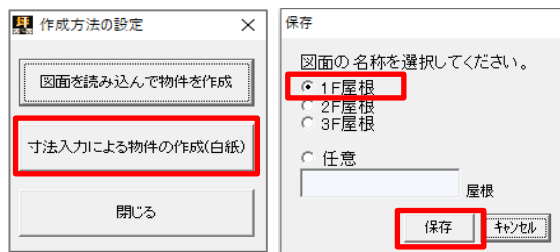
屋根伏せ図の完成です。  
 ここまではあくまで下絵の状態です。  
 自動配置や部材配置モードで面積や役物を入力します。

## 屋根伏の前準備

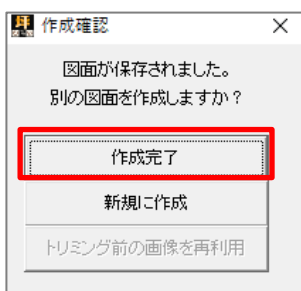
外壁線を数値で設定するため、図面を読み込む必要はありません。



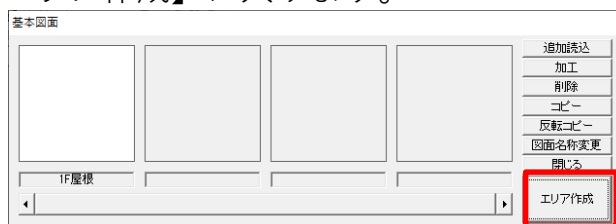
【スタート】から作成者名・物件名を設定し、【屋根伏図】モードで作成します。



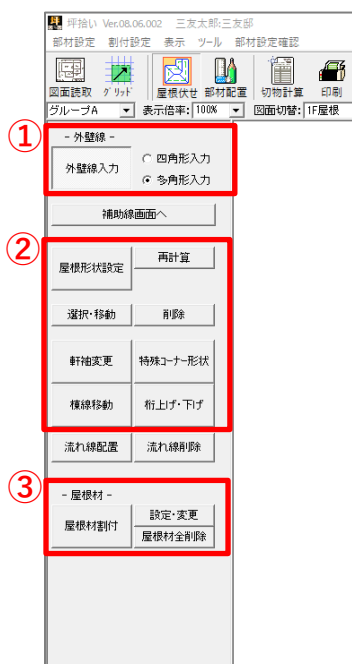
「寸法入力による物件の作成(白紙)」を選びます。図面名を選択して、保存します。



追加の読込がなければ「作成完了」にします。  
【エリア作成】に入ります。



屋根伏せのエリア作成画面が表示されます。  
屋根伏せ画面の主な機能は以下の通りです。



### ① 外壁線入力

屋根伏図のもとになる外壁線を描くモードです。



### ② 屋根編集

【屋根形状設定】屋根の形状・勾配・出幅を設定します。

【軒袖変更】辺ごとに属性を変更します。

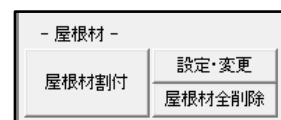
【特殊コーナー形状】特殊な屋根コーナーがある場合に設定します。

【棟線移動】【桁上げ下げ】平棟の位置を調整します。



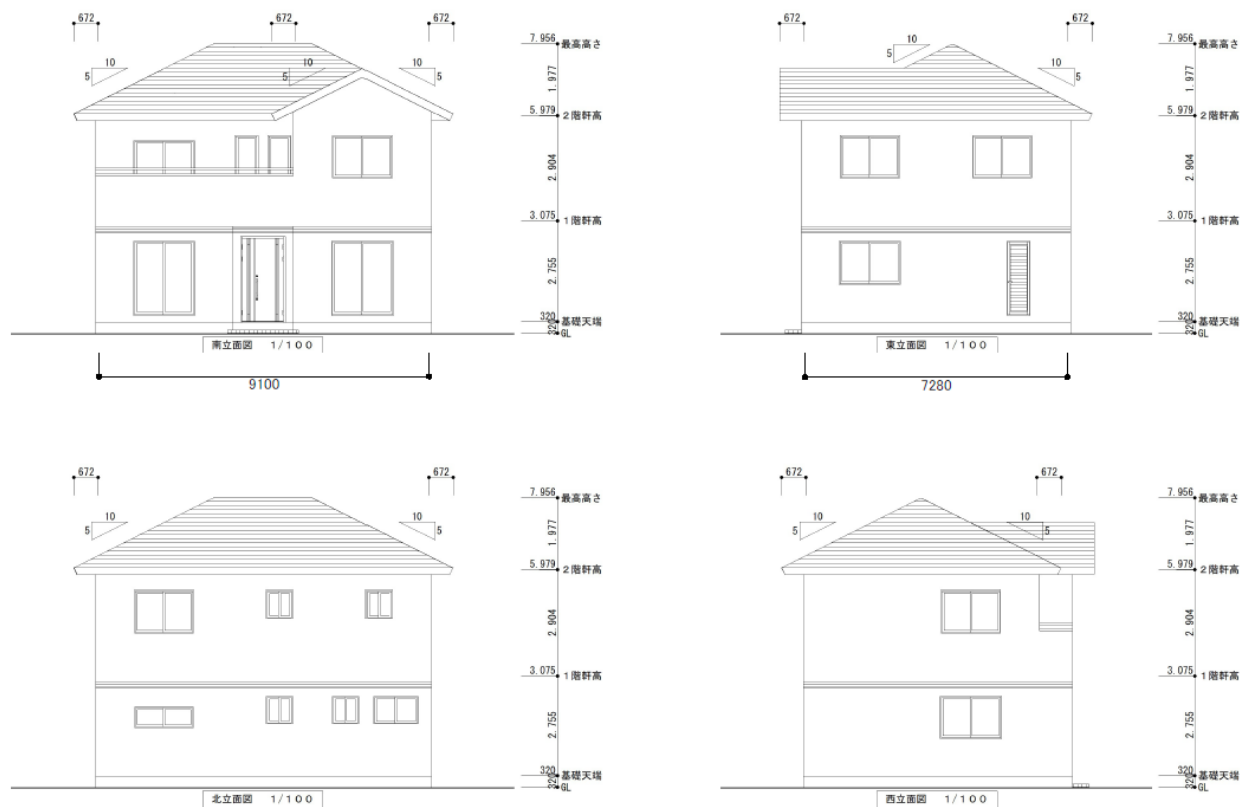
### ③ 屋根材割付

屋根伏図をもとに屋根材を自動で割付します。



※各ボタンについての詳しい説明は「屋根伏せ詳細マニュアル」参照

## 屋根伏図の作成

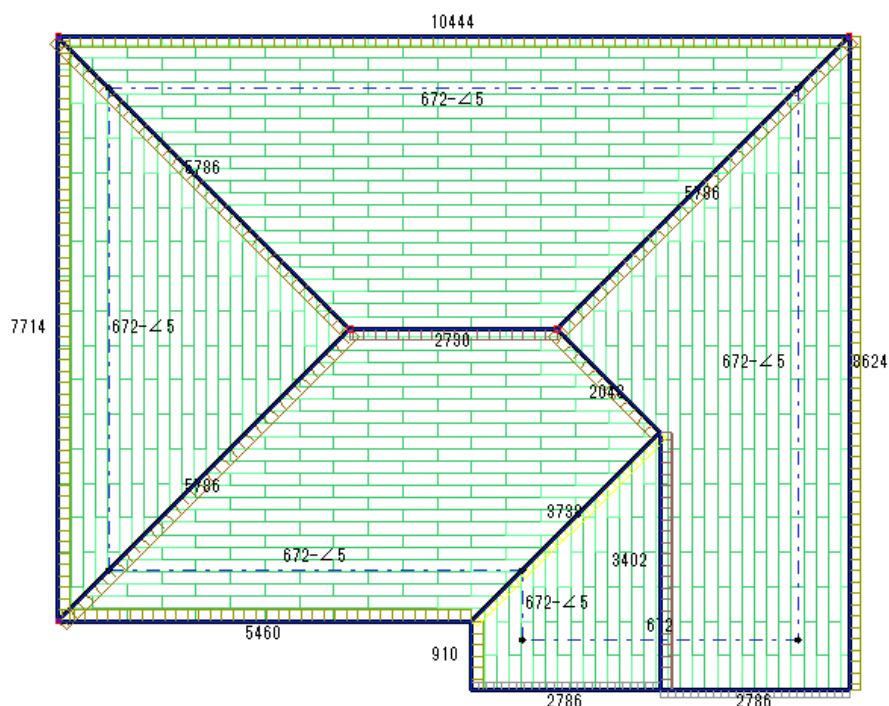


### 例題物件 1 外壁線入力の方法～軒袖変更

例題物件 1 のポイント

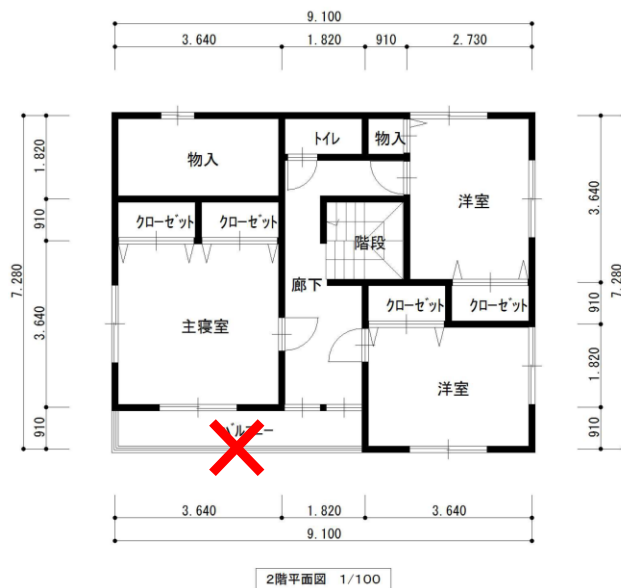
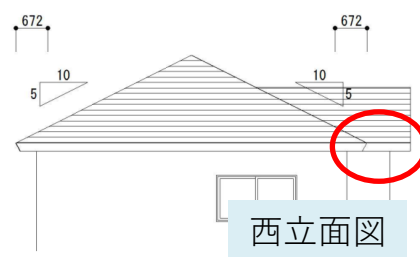
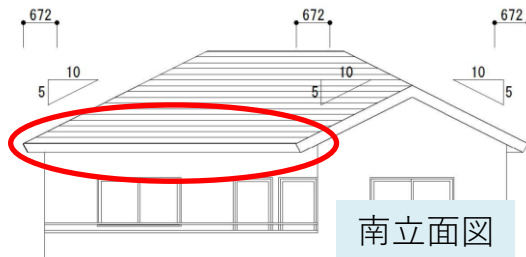
- ・屋根がかかっていないバルコニー部分をよけて外壁線を作る
- ・軒袖変更で袖部分を設定する

完成図イメージ



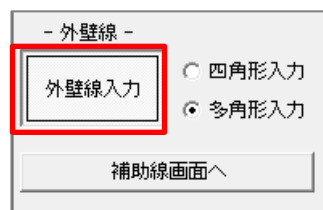
## 入力手順

まず、屋根がかかっている範囲を見極めて外壁をとります。  
今回の屋根はバルコニーには屋根がかかっていません。南立面図、西立面図で確認できます。



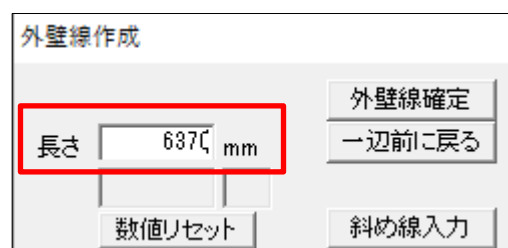
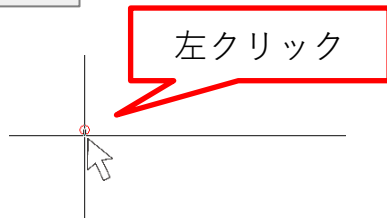
まずは、外壁線入力を行います。  
外壁線の寸法は、屋根が載る階の平面図を参考にします。

屋根がかからないバルコニーをよけて外壁のラインを作成します

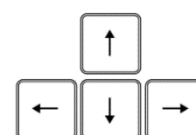


【外壁線入力】をクリックし、入力は多角形入力に設定しておきます。

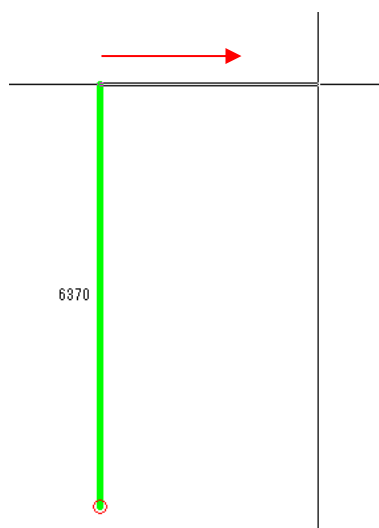
図面上で書き始める位置を決め、左クリックします。  
赤丸○が付き、そこが始点になります。



始点から2点目までの長さを  
「外壁線作成」画面の「長さ」に入力します。  
数字を入力し、そのままキーボードの矢印キーを押して線を伸ばす方向を指定します。

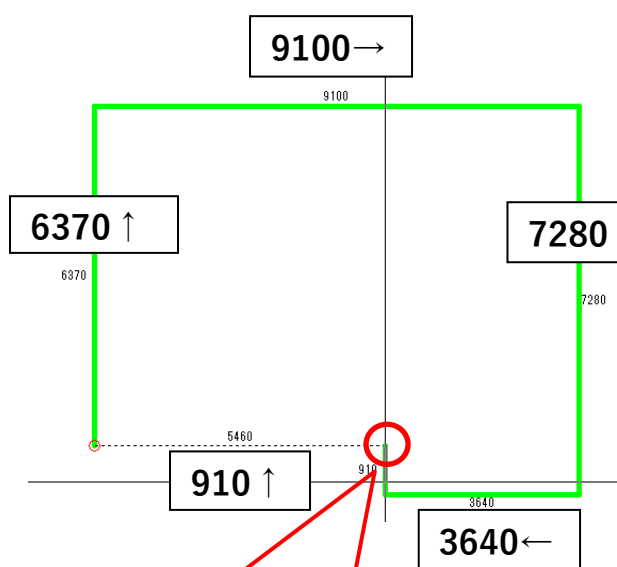


今回の物件だと  
「6370」「↑」です。



始点から 6370mm 上方向に外壁線が引けました。

次は 2 点目から 3 点目に向かって入力していきます。(「9100」「→」)



その先も同じように「長さ」+「方向キー」を入力して書いていきます。

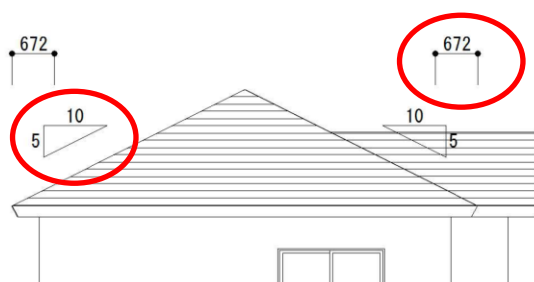
(寸法や方向を間違えて 1 点戻りたい場合は、キーボードの Esc キーを押すごとに 1 点ずつ前に戻ります)

始点の 1 つ手前の点まで外壁線が書けたら Enter キーで外壁線を確定します。

始点の 1 つ手前の点で **Enter**



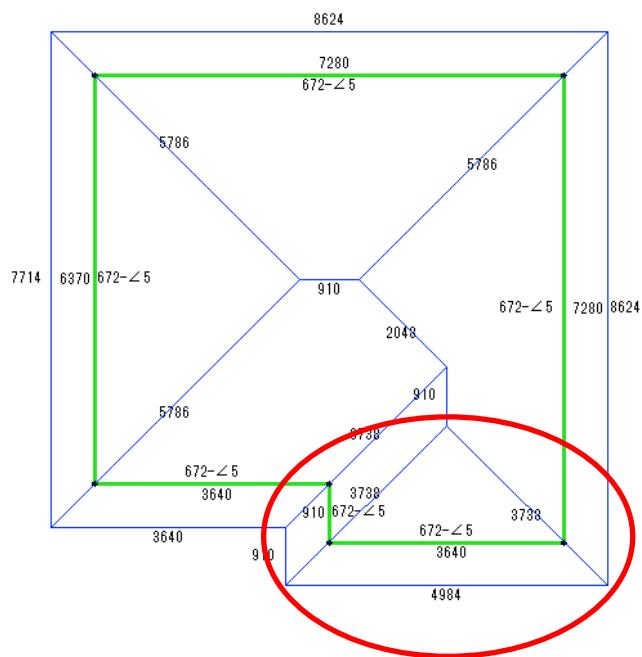
外壁線が確定されると、設定画面が表示されます。



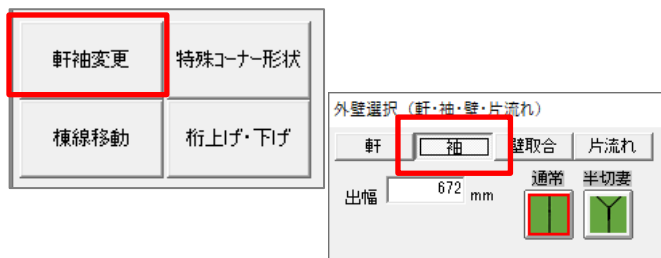
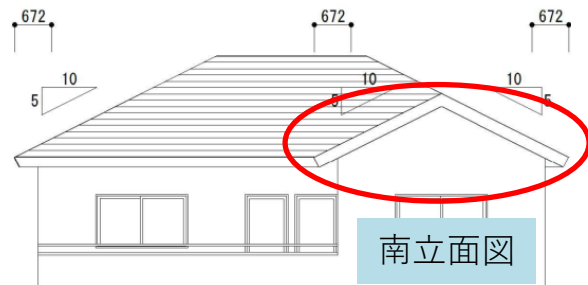
立面図を見ながら、勾配・出幅の設定と、大まかな屋根の形状を選択します。

今回は勾配 5 寸、出幅は軒、袖共 672mm。形状は「寄棟」を選択します。

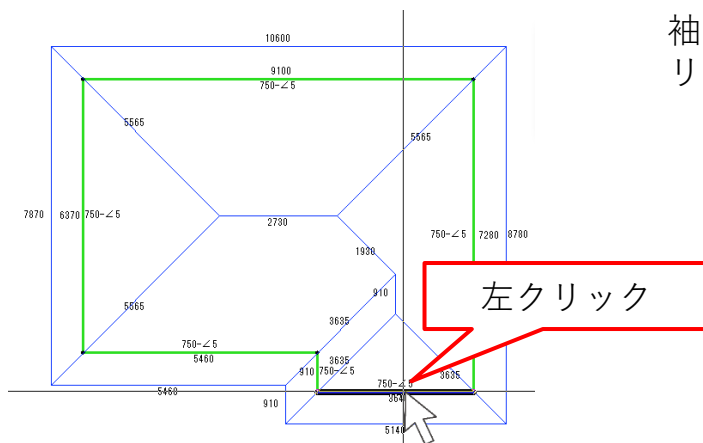
【OK】で確定すると、選択した形状で自動で屋根伏が作られます。



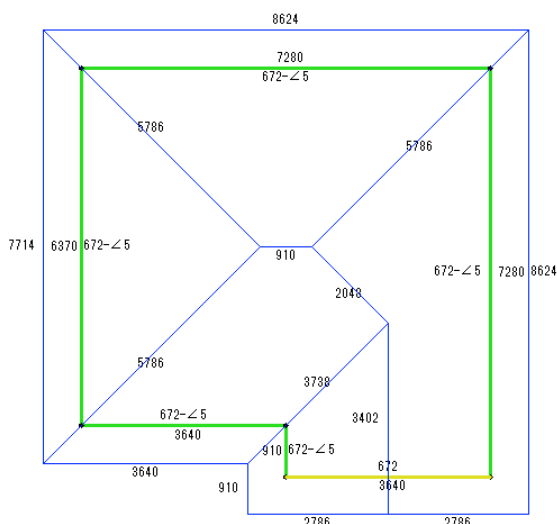
できた形状が立面図と合っているか確認します。今回は南の出っ張り部分だけ、寄棟ではなく切妻の形状をしています。



【軒袖変更】をクリックします。  
「外壁選択」画面で、【袖】を選びます。

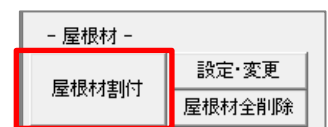


袖になる外壁線の辺を左クリックします。  
リアルタイムで屋根伏の形状が変わります。



屋根伏の形状が完成しました。

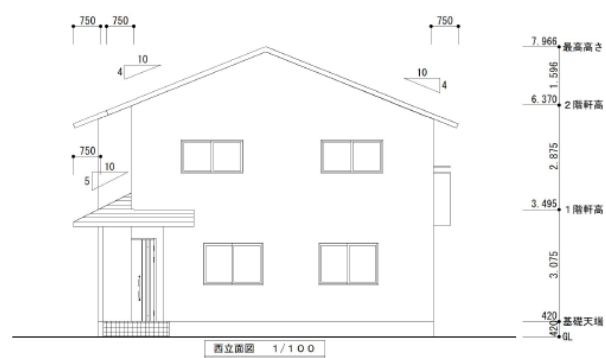
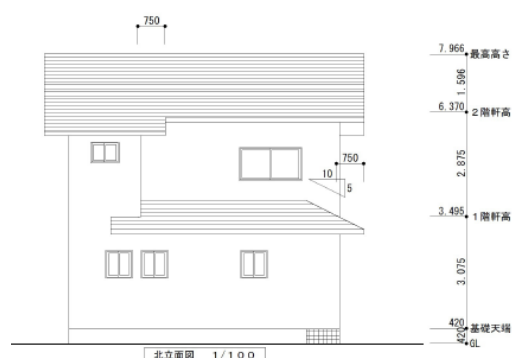
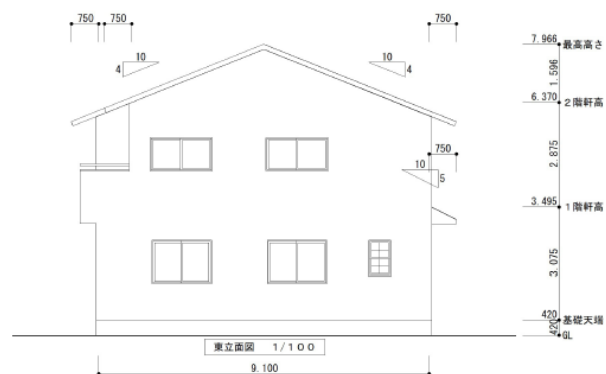
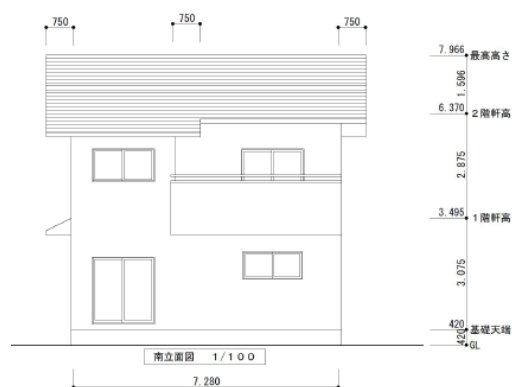
【屋根材割付】で面積や役物を自動で配置できます。



※雪止め金具など自動で配置できない役物も存在しますので、自動配置後は必ず配置されているものに間違いがないか確認ください。



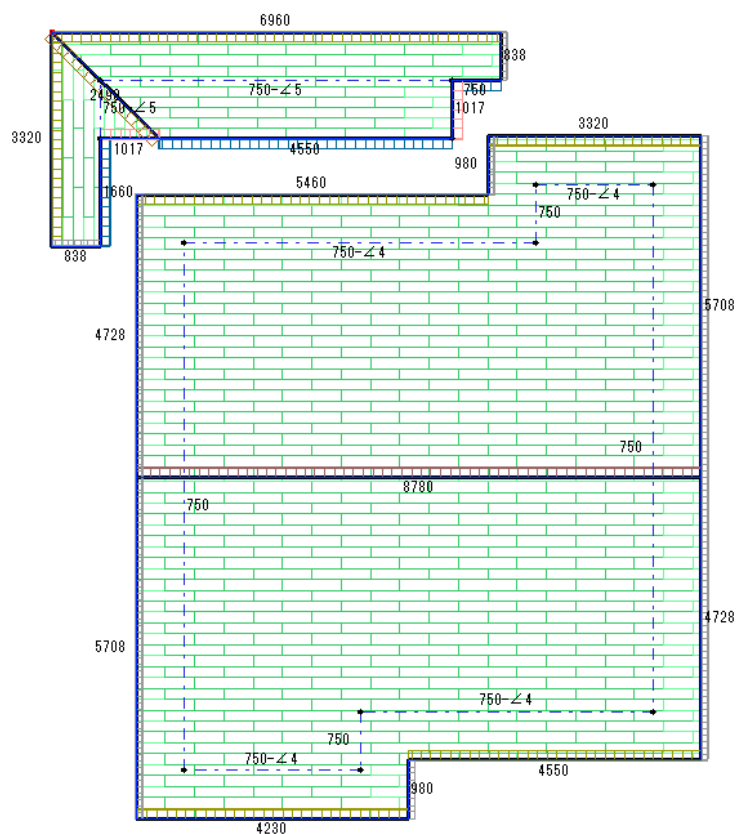
## 例題物件２ 桁上げ・下げのある屋根／下屋（１階屋根）の作り方



例題物件２のポイント

- ・軒の高さが違う屋根
- ・袖のある下屋

完成図イメージ

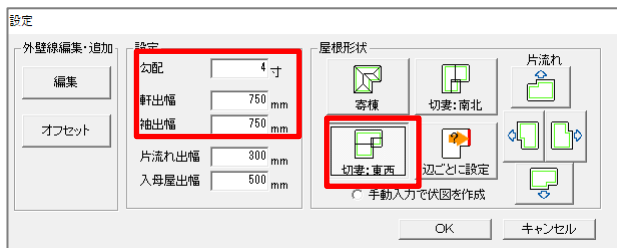
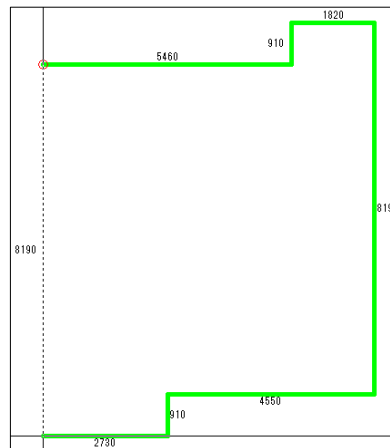
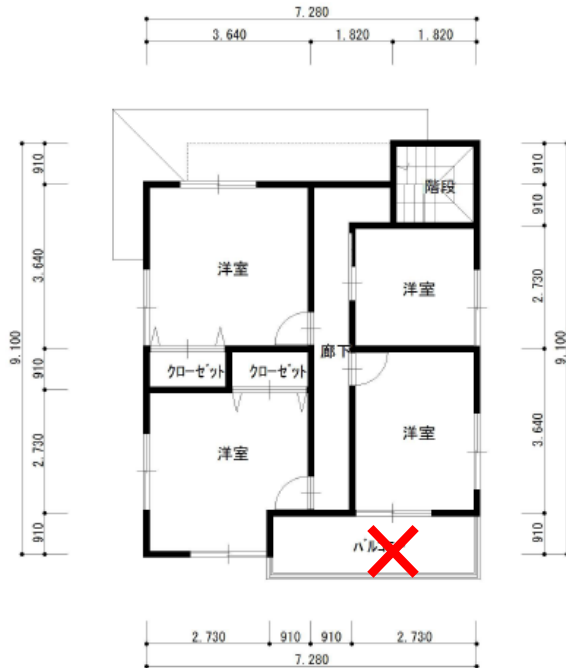


## 入力手順 - 大屋根（2階屋根）

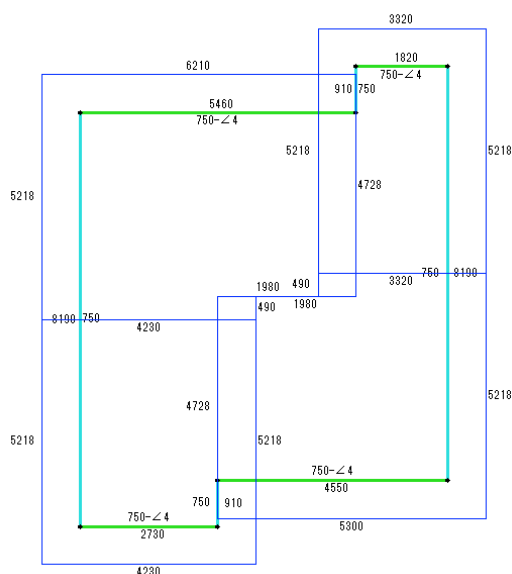
まず大屋根から作図します。屋根がかかっている範囲を見極めて外壁をとります。  
今回の屋根はバルコニーには屋根がかかっていません。



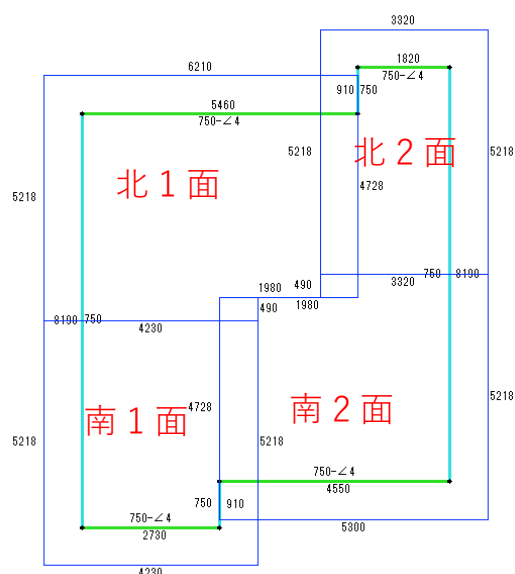
外壁線入力を行います。  
屋根がかからないバルコニーをよけて外壁のラインを作成します。



屋根の形状と勾配を選択します。  
今回は横に棟が通る切妻屋根の形状ですので、【切妻：東西】を選択します。

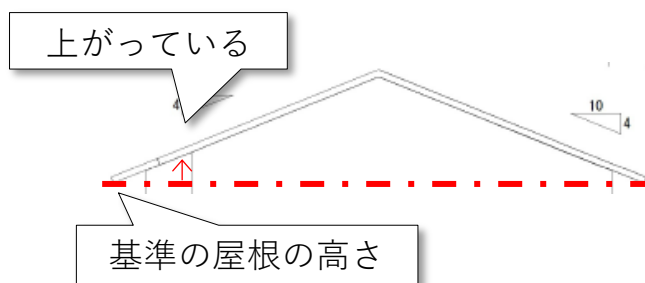
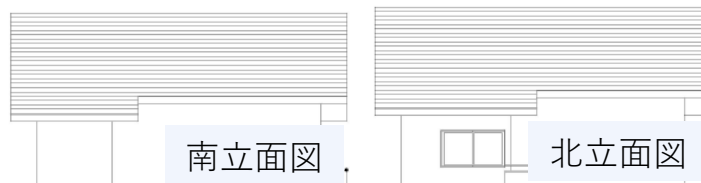


横向きに棟が通る切妻の屋根伏図が作成されます。  
北面・南面共に、立面図の形状とは違う形になっています。間違っている部分を修正していきます。



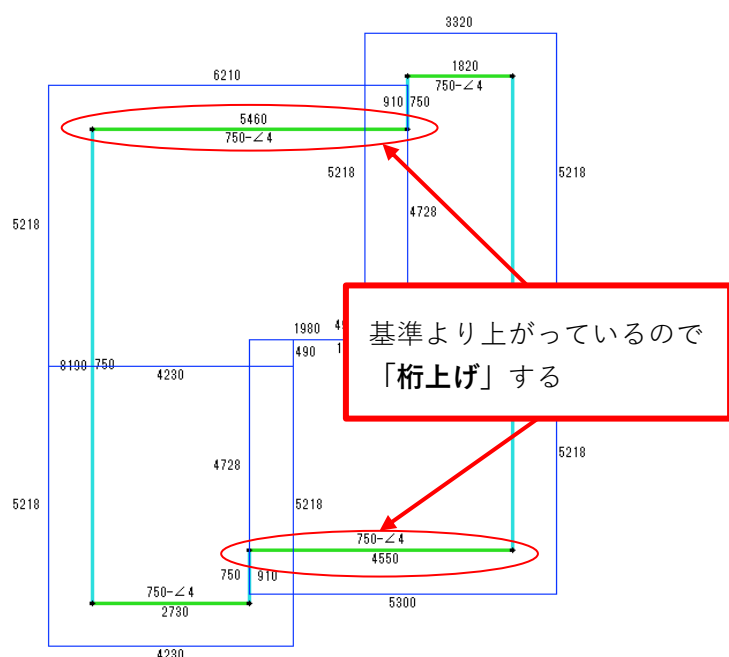
間違っている部分の探し方

各方位より面の数が違います。北面・南面ともし字型の屋根が1つずつしかありませんが、できた形状は面が2つずつできてしまっています。



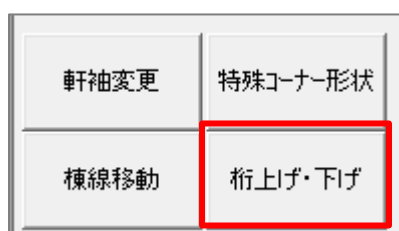
もう一度立面図を確認します。

東面・西面から見た時、一部基準の高さより上がっている部分があることが分かります。

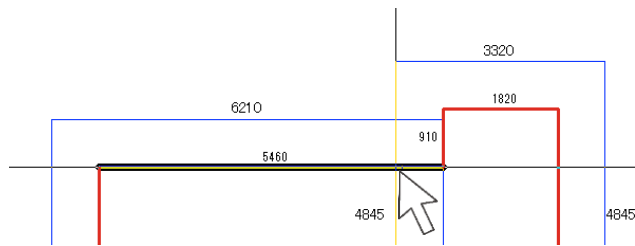


坪拾いで屋根を自動作成した場合、必ずすべての軒は同じ高さとして設定されます。そのため、必ず軒と軒の間の中央に棟のラインを作ります。

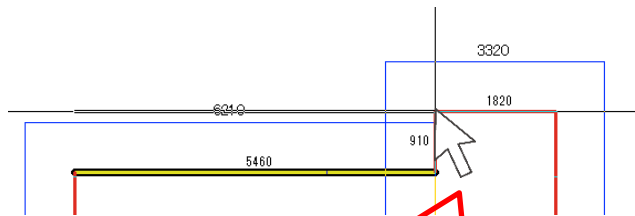
基準の高さより上がったたり下がったりしている軒がある場合【桁上げ・下げ】で設定する必要があります。



【桁上げ・下げ】ボタンをクリックします。

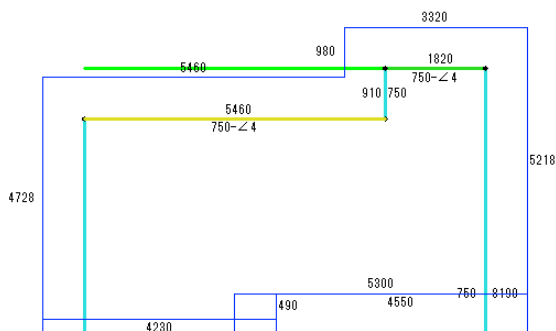


高さを調整したい軒の外壁ラインを  
左クリックで選びます。



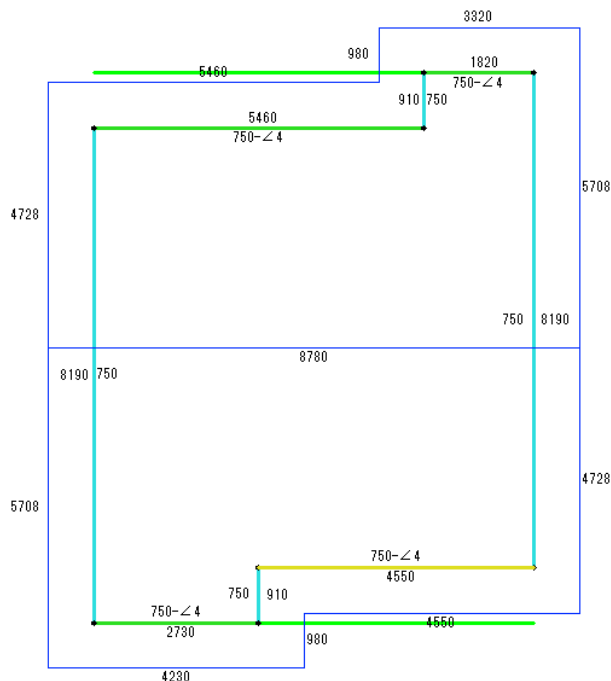
角にピタっと吸着させた  
状態で左クリック

基準の高さの軒をクリックで合わせます。  
基準の高さの軒のラインの角にマウスカー  
ソルをもっていくとピタっと吸着します。  
その状態で左クリックします。



910 外側に仮想の軒のラインができます。  
これで「桁上げ」の設定が完了です。

自動的に棟のライン動きます。



南面も同じように設定します。  
棟のラインが一直線になり、北・南の面が1  
面ずつになりました。  
これで大屋根は完成です。

桁上げ・桁下げ設定

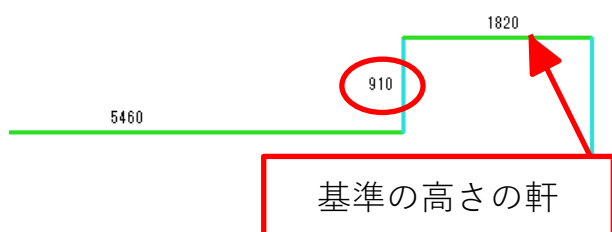
桁高の違う辺を選択し、幅を指定してください

☒ 桁を上げる ☐ 桁を下げる

1676.7

910 mm

OK



### ★ワンポイント

桁上げ下げは、数値を指定して移動することも可能です。

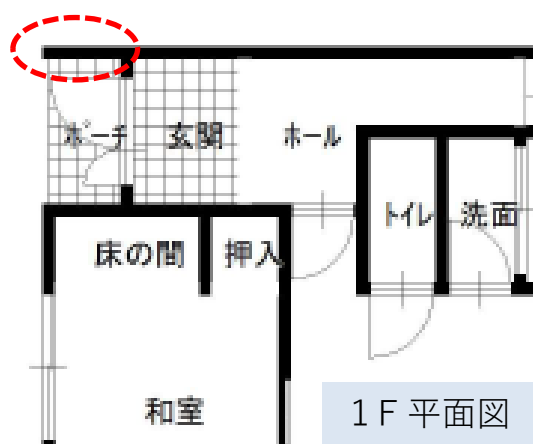
【桁上げ・下げ】ボタンを押すと、「桁上げ・桁下げ設定」画面が表示されます。この物件だと、基準の高さの軒と比べて910内側に入っている（上がっている）ため、「**桁を上げる**」にチェックし、幅の数値を「**910**」と入力します。

Enter キーまたは【OK】を押します。

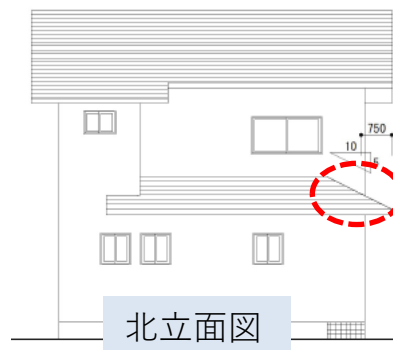
### 入力手順 - 下屋（1階屋根）

続いて下屋を作成します。下屋も同じく屋根が載る部分の外壁線を書いていきます。基本的には、1階のみ部屋がある部分になります。

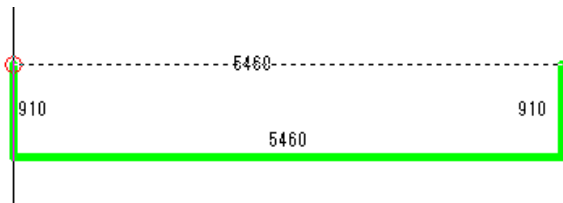
1階と2階の平面図を見比べながら、どの部分に屋根がかかるかを見極めましょう。



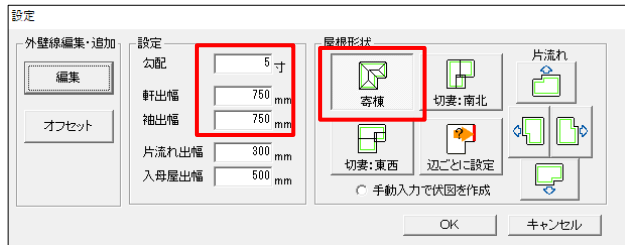
この物件の場合、玄関ポーチ横に袖壁がありその上まで屋根がかかっています。



1階のみ部屋がある部分で袖壁までだと、左図の緑ラインのような外壁線になります。ふたたび外壁線から描いていきます。



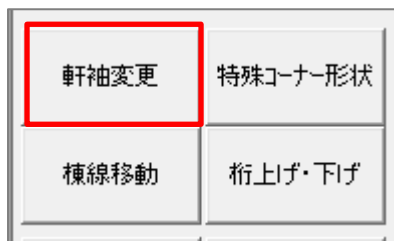
【外壁線入力モード】で左のような外壁線を描きます。



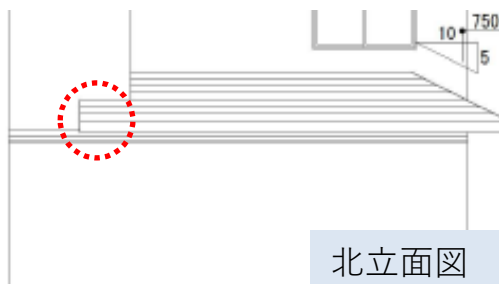
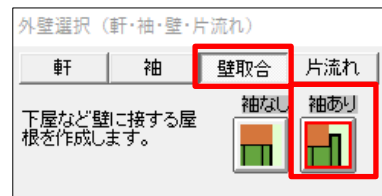
屋根の勾配（5寸）と出幅（750mm）を設定し、形状は【寄棟】を選択します。



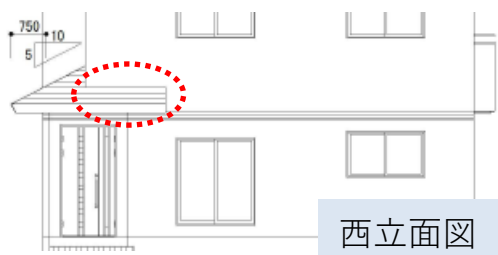
寄棟屋根が出来上がります。  
下屋の場合は必ず壁と接する部分がありますので、設定が必要です。  
壁と接する部分を「壁取合」と呼びます。  
この物件の場合は左の赤枠部分が壁と接します。



【軒袖変更】ボタンをクリックします。  
外壁選択画面が出てきますので  
【壁取合】の「袖あり」を選択します。

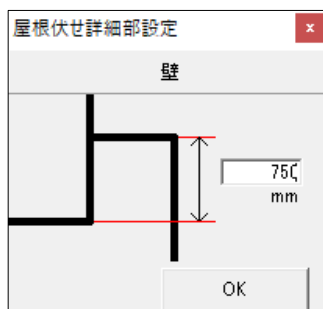


北立面図



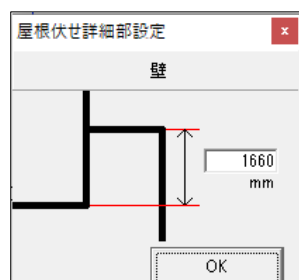
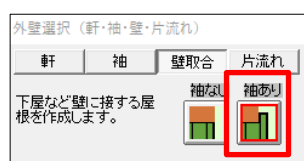
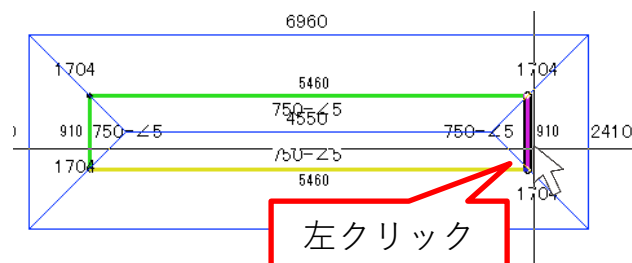
西立面図

「袖あり」とは、壁と接する部分の端が外壁に食い込んだような形状のことです。  
この物件の場合、北立面図・西立面図のどちらにもみられます。



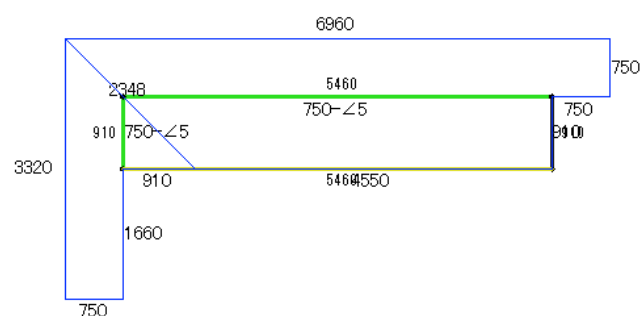
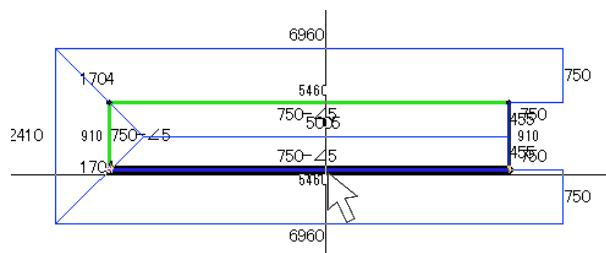
詳細設定画面が出るので、袖の幅を設定し「OK」を押します。

壁取合に変更したい部分にカーソルを合わせ、左クリックします。

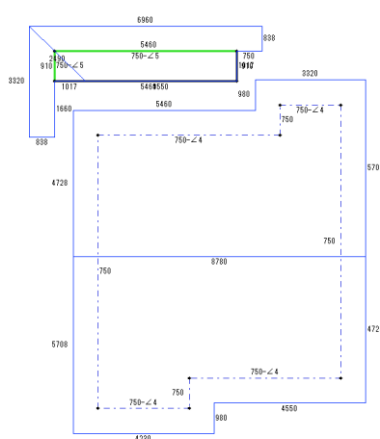


この物件では、北と西で袖の長さが違います。  
(※北の袖：750mm、西の袖：1660mm とします)

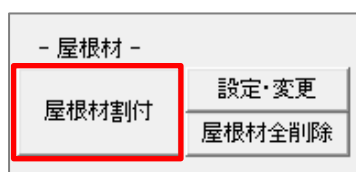
袖の幅を変える場合は、もう一度「袖あり」ボタンを押すと、再度設定画面が出てきます。設定を変更した後に、壁取合に変更する部分を左クリックしてください。



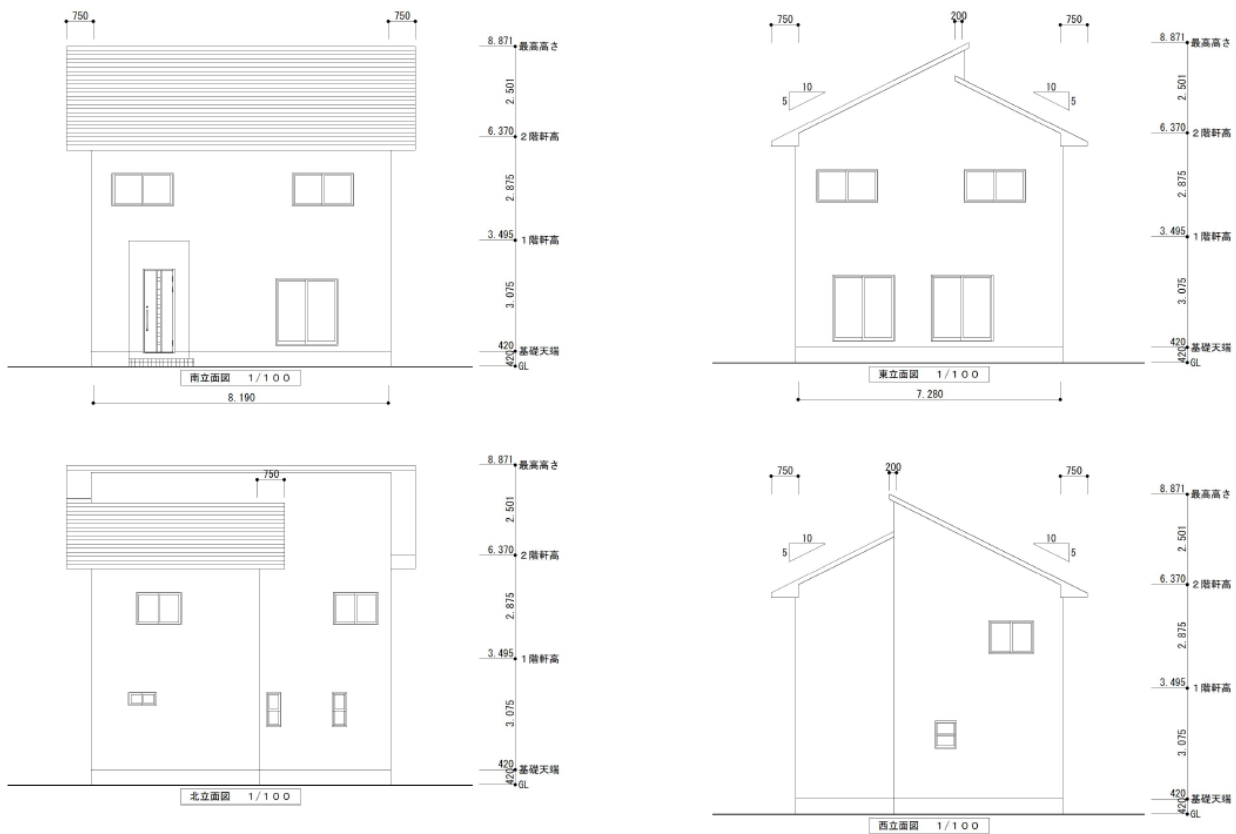
下屋が完成しました。



【屋根材割付】をしたら完成です。  
大屋根と下屋、両方に屋根材が割付されます。



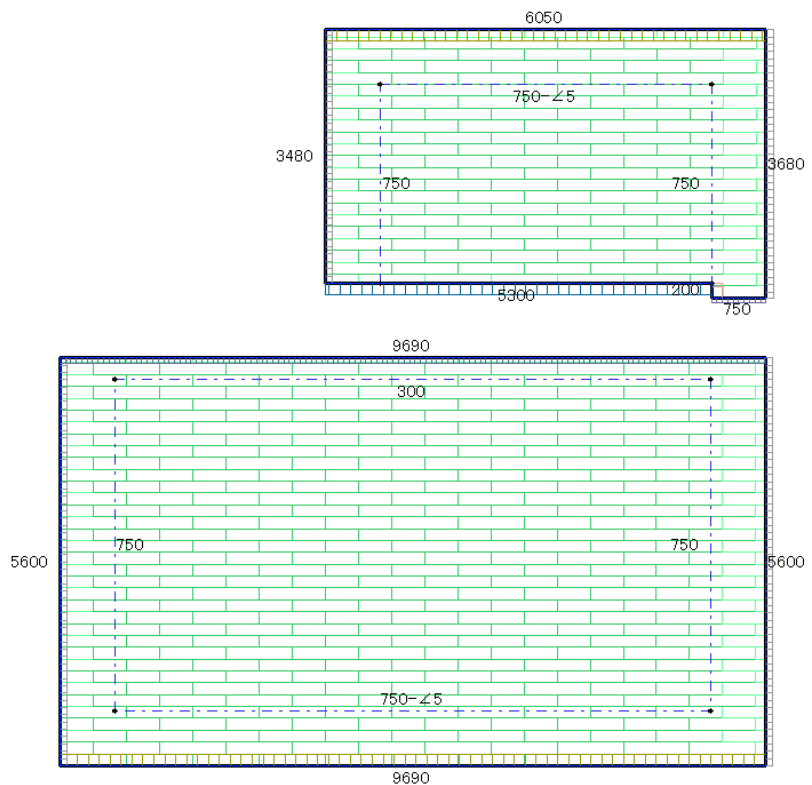
## 例題物件 3 段違いの屋根／特殊コーナー形状



例題物件 3 のポイント

- ・ 段違いになっている部分は外壁線を分ける

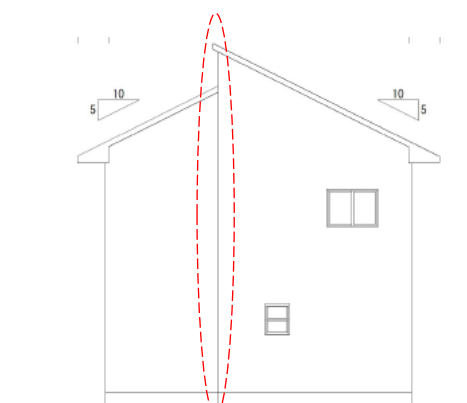
完成図イメージ





## 入力手順

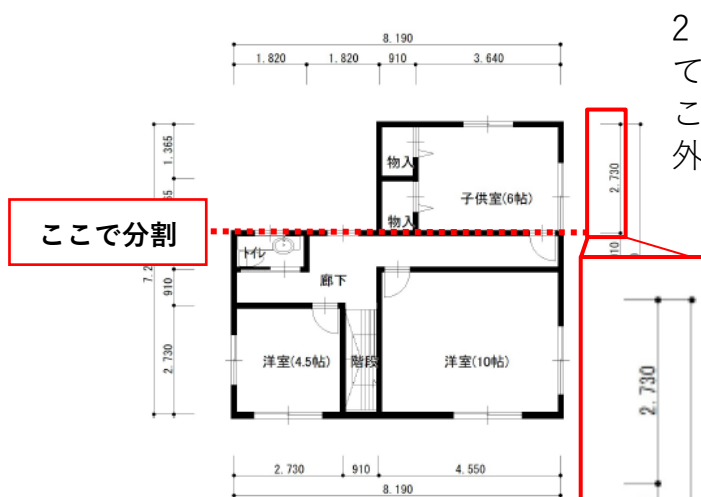
屋根が段違いになっている場合は、1つの建物の屋根だとしても外壁線を分け、それぞれ屋根を作成する方法がおすすめです。



西立面図

西立面図より、どの位置で段違いになっているかを確認します。

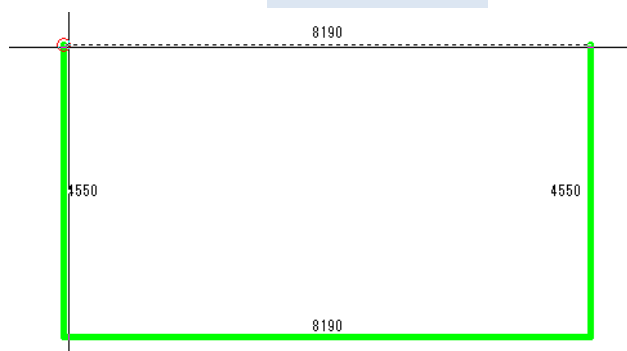
ちょうど外壁が凹んでいる地点で分かれていることが分かります。



2階平面図

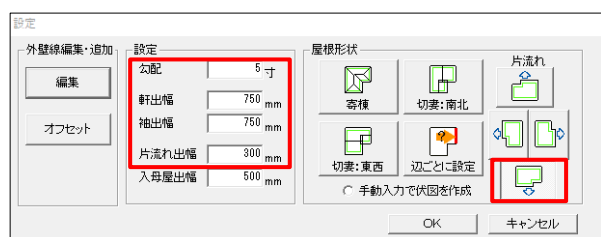
2階の平面図を参考にすると、屋根が分かれている位置までの寸法が分かります。

この物件だと、北から 2730 の位置です。外壁線もその位置で分割して書きます。



南面から作成します。

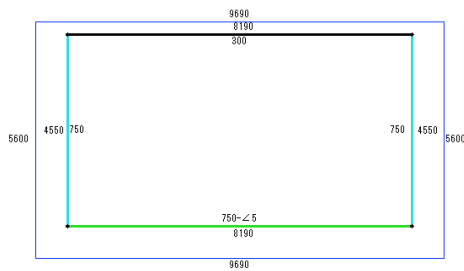
【外壁線入力】から、縦 4550、横 8190 の外壁線を作成します。



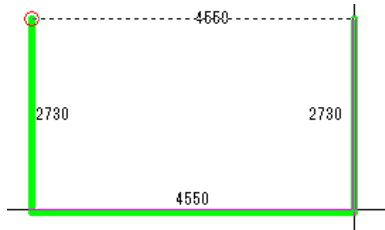
勾配、軒出幅、袖出幅に加え、片流れ出幅も設定します。

片流れ出幅とは、片流れ棟の出幅です。

形状は片流れの南流れ（↓）を選択します。



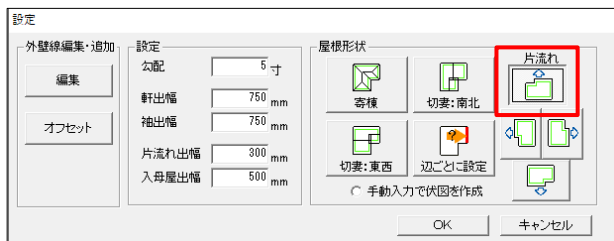
【OK】を押すと屋根ができます。  
南面はこれで完成です。



続いて北面を作成します。

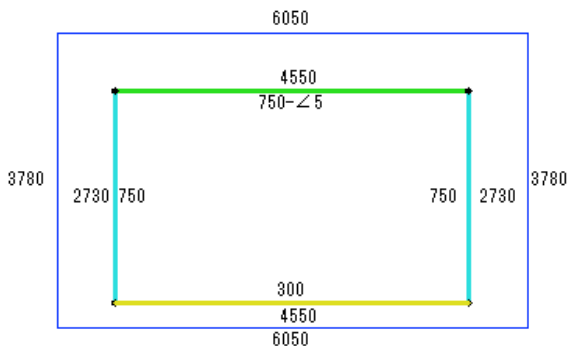
【外壁線入力】に戻り、残りの外壁線を書いていきます。

縦 2730、横 4550 の外壁線を作成します。



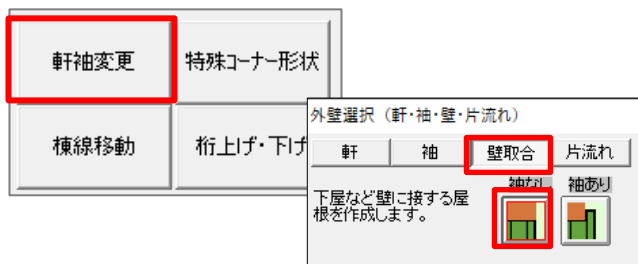
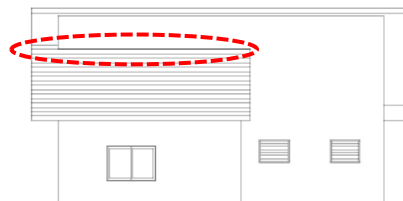
ふたたび設定画面です。

形状は、北向きの片流れ（↑）にします。



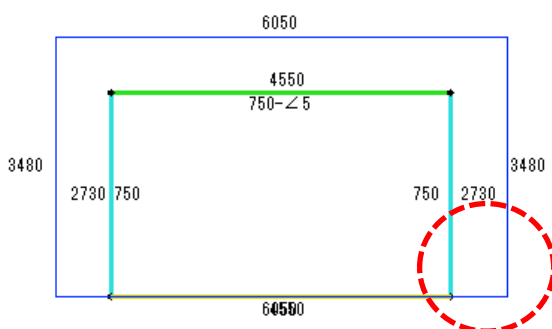
北面の片流れが作成されます。

しかし、北面は下側に入り込む屋根の為、片流れ棟ではなく壁取合になります。



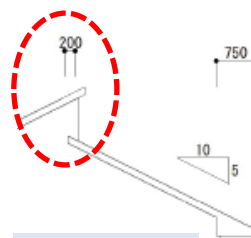
壁にぶつかる部分は【軒袖変更】から「壁取合」に変更します。

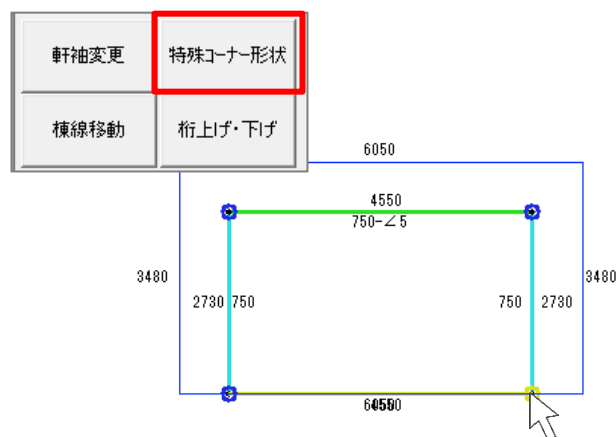
形状は「袖なし」に設定します。



袖なしの壁取合になりました。

しかし、東側の袖部分を立面図から見ると、片流れ棟の出幅が 200 あります。





片方だけ壁取合に袖がある場合など、一部だけコーナーの形状を設定する場合は、【**特殊コーナー形状**】を使います。

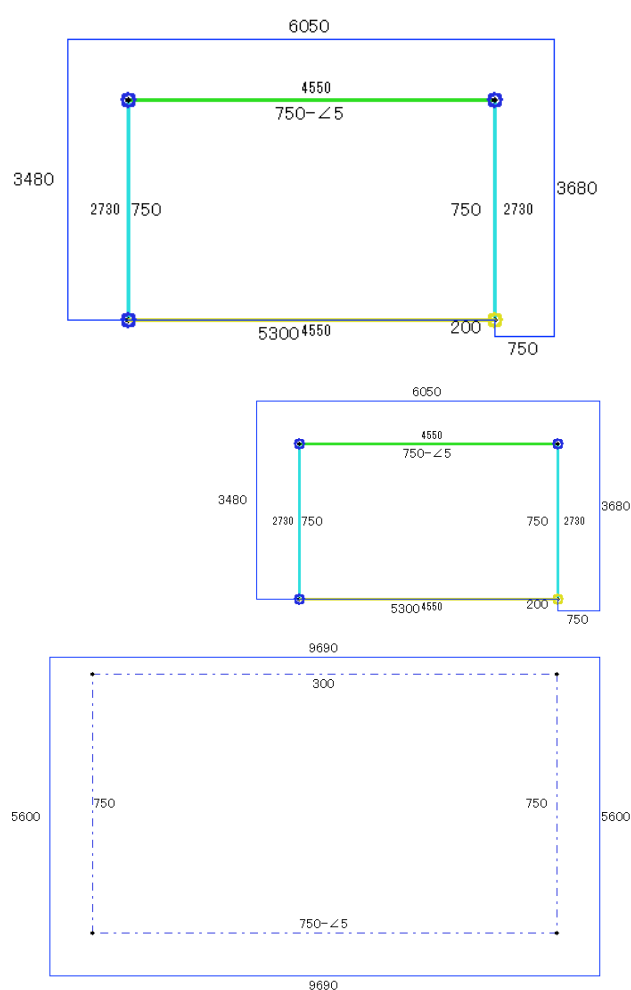
ボタンをクリックすると、外壁のコーナーに青丸○がつきます。

形状を変えたい部分を左クリックします。



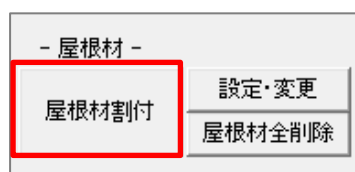
コーナー選択画面が出てきます。

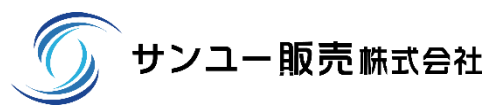
「袖あり」を選択し、幅を 200 に設定し、「OK」を押します。



袖部分が設定できました。

最後に【屋根材割付】をして、完成です。





作 成 者	サンユー販売株式会社
最終更新日	2023 年 2 月 7 日

<https://www.sanyu-hanbai.com/>

サポートセンターフリーダイヤル：0120-840-822

9:00~12:00・13:00~17:30（指定土曜・日曜・祝日を除く）